

連携ニュース てんじん

独立行政法人
国立病院機構 甲府病院
（〒370-8585 甲府市東町1-1-1）
発行責任者
院長 長沼博文

2006年5月1日発行
第5号

<http://www.hosp.go.jp/~kofu/>



甲府病院の新年度

内科系診療部長 渡邊 吉康

例年になく寒暖の差の大きな春先が足早に過ぎ、桜の花の季節も終わり、気がつくとも梅の花もすでに見頃を過ぎてしまいました。五月の空がまぶしい今日この頃、皆様お元気で過ごすごしのことと思います。

甲府病院はといたしますと、新年度を迎えて心新たに、地域に根ざした充実した医療を実現すべく、全スタッフ一丸となって頑張っております。

しかし、実は当病院にとっては大変な時期に入っており、表面上は静かながらかなか大変な時期を迎えております。

新年度からの診療報酬の大きな改定や障害者自立支援法の成立など、医療施設にとって適切な対応が必要な重要事項がすでに始動していて、これに対し各種システムの整備や人員の配置、実務上の各種方策の実施を行うなど、関係する多くのスタッフが日々奔走している状態です。

また、当院においてのもう一つの大きな変革は、入院診療が七月より従来の出来高評価制の診療報酬制度から、包括評価による診療報酬制度（DPC・診断群分類別入院費包括支払制度）による診療への移行が決定した

ことです。DPCによる診療はすでに県内のいくつかの医療機関で行われておりますが、当院も今年七月よりDPC診療へと変わります。その実施のためには多くの対応と解決をすべき事項があり、現在病院スタッフ全員でその準備を進めているところです。

一方、内科（内科、呼吸器、循環器科）は、新たに常勤医師一名が増員になり、外来と入院診療を担当することとなりました。このため外来診療担当者が若干変更されております。これにより、これまでより少々余裕をもって診療が行える体制となり、待ち時間の軽減やより充実した医療が提供できるものと期待しております。しかし、当院の地域医療における使命からいって、内科系では現在の人員に加え、さらに呼吸器科医師、循環器科医師の増員が不可欠な状態であり、今後さらなる充実を目指して努力しております。

以上述べましたように、甲府病院の新年度は、いろいろな変革の時期を迎えてスタートし、

内情は大わらわではあります。地域の開業の先生方、医療施設、福祉・保健施設、介護や福祉の方々、ボランティアの皆様との密接で効率的な地域医療連携はもちろんのこと、患者さん、ご家族の皆様これまで以上に充実した医療の提供を実現したいと頑張っているところです。

やはり、当院の基本的な姿勢である、「地域に密着した、誰もが親しめる気軽で人に優しい病院」を目指して日々努力を続けたいと考えております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。





診療科案内

当院内科のご紹介

内科医師 川口 章夫

当院内科は、一般内科（プライマリケア）から救急患者様の対応、個々の内科医師の専門分野および高齢者医療にいたるまでの幅広い診療を行っております。さらに、独立行政法人国立病院機構となり、山梨県外の同関連施設および各大学病院との連携もさらに強化し、より高度な専門医療を提供できるよう努力しております。また、血液、レントゲン、生理検査などは即日の結果を知ることができ、最新のCT、MRI、RI検査機器も導入し、より高度かつ専門的な検査を受けることが可能となっております。

以下に当院内科で扱っております疾患の説明を掲載いたします。

〈高血圧、内分泌、代謝、甲状腺疾患〉

高血圧は、体質などの遺伝因子や食生活・生活環境などの環境因子によると思われるが、高血圧患者さんの5〜10%は、根本的な治療（高血圧を治してしまうこと）のできる二次性高血圧症（下垂体、甲状腺、副腎疾患など）が含まれていることが、意外にも知られていないという事実があります。高血圧の患者様はまずそのような完治可能な高血圧であるかを簡単な血液検査で調べることが大切です。

〈糖尿病〉

糖尿病（糖尿病とまで診断されずとも、境界型の方も含めて）は、全身の臓器に障害をもたらす病気であり、しかも、

血糖値を測定するまで自分が糖尿病であるということに気が付かず自覚症状（視力低下、足のむくみ・しびれなど）が出現した時には、既に糖尿病がかなり進行した状態になっていることがあります。また、

糖尿病がありますと、脳卒中、心筋梗塞など命に関わる病気を起こす危険性が非常に高まります。検診で血糖値が高い、身内に糖尿病の方がいらっしゃる、肥満など糖尿病になりやすい体質の方は、ぜひとも外来を受診し、糖尿病であるかどうかの診断を受けましょう。また、糖尿病は、生活習慣病の代表的疾患でもあるため、外来での食事・運動療法の指導から、インスリン導入、糖尿病でもっとも注意すべき糖尿病から引き起こされる合併症（網膜症・腎症・神経障害など）の検査、糖尿病教室も行ってまいります。さらには、糖尿病を徹底的に治療するための短期（七日間コース）教育入院も行っておりま

〈循環器〉

心臓は、全身に血液を送り出し、人間が生きていく上で最も重要な臓器の一つであります。その心臓が正常に働くように、虚血性心疾患・不整脈・高血圧・心不全などの治療、外来での心臓の働きをみる検査（心電図、二十四時間心電図、心エコーなど）を行っております。高齢化社会と生活習慣病の増加に伴い欧米に追従するかのよう虚血性心疾患（動脈硬化による狭心症、心筋梗塞など）が増加しています。気づいた時には手遅れにならないようにするため、早期診断・早期治療のために全身の動脈硬化の検査なども外来で行うこと



ができませんので心臓に不安のある方、検診で心電図異常を指摘された方は、外来で精密検査を受けるようにしましょう。

慢性腎不全・リウマチ性疾患

慢性腎不全においては、知らず知らずのうちに腎臓の働き（余分な水分、体にとっての不要な物質などを尿として体の外に出す機能）が低下していることがあります。検診などで尿に蛋白、血液が混ざる、足のむくみがある方は一度外来で腎臓の働きを調べてみましょう。腎臓の働きが低下していくと最終的には、人工透析を行わなくてはなりません。そのような、状態にならないように、食事・内服治療を行い腎臓の働きを維持するようにしましょう。

リウマチ性疾患（関節リウマチ・膠原病・血管炎など）とは、一般の方には非常にわかりにくい病気であり、関節が腫れる、微熱がなかなか下がらない、筋肉が痛いなど、どこが悪いのか患者様には見

当がつかないような病気です。そのような自覚症状のある方は当院内科の診察を受けてみてはどうでしょうか。

今後は、今まで以上に医師、検査機器の充実を行い、患者様の満足できる医療を提供で



職場紹介

職場紹介

栄養管理室長 原 義隆

私たち栄養管理室スタッフは、管理栄養士三名、栄養士一名、調理師七名（内非常勤二名）、調理補助一名、契約係事務員一名の計十三名及び、業務委託職員二十名（洗浄業務含む）で構成され、患者様の食事面における療養環境向上のためのフォローをしております。内容は、新生児のミルク調整を始め、一般・結核病棟及び重症心身障害児（者）病棟の患者様全般の食事調整、各種栄養相談・教室、NST回診

きるよう努力していきたいと考えております。

なお、外来診療は、基本的には予約制で行っていますが、予約のない初診患者様、救急患者様に対してもできる限りの対応を行っております。

同行などの業務にあたっております。調理師は、できるだけ残さず食べていただけよう細心の注意を払った調理・盛り付けに心がけ、栄養士は食事相談を中心に病棟を訪問する機会が増やせるよう努力しています。食事面では、小児科へ入院された離乳食の患者様のご両親へ、ご家庭での進め方や使用している食材を伺うなど、進め方にあった調整を行っています。また、その他の患者様においても症状

に應じることは基より、除去食品などは嗜好も含め可能な限り意向に添うよう伺い、調整努力しています。何よりも病院で提供した食事が残され、栄養状態が低下することのないようにすることが、スタッフ全員の希望であり努力目標です。昨年より栄養状態の懸念される患者様には、NST（栄養サポートチーム）の回診に同行し、身体計測・栄養状態の評価を行うことで、患者様にあった最良の栄養補給方法を提案しております。また、食事サービスマンでは、二月の外來糖尿病教室において、外食の機会が増えた昨今の社会状況を踏まえ、その工夫の一環として「にぎり寿司食事会」を開催し好評を得ることができました。今年度においては、診療報酬改定に伴い、食事面でも患者様の自己負担など厳しい状況ではございますが、今後ともより良い食事面のサービスマン向上とQOLの向上に努めて行きたいと考えております。

外 来 診 療 担 当 表

平成18年5月1日現在		月	火	水	木	金
内 科	1	渡 邊	川 口	渡 邊	渡 邊	渡 邊
	2	黒 澤	黒 澤	黒 澤	川 口	黒 澤
	3	川 口	尾 畑	高 木	中 尾	高 木
	4	高 崎	高 崎		高 崎	
	5					
脳神経外科	5		長 沼			長 沼
特殊外来 <small>午後3:00～</small>		高 木		高 崎		高 崎
神 經 科			平 野・塩 江			
消 化 器 科		河 口	角 田			河 口
小 児 科	1	久 富	稲 見	久 富	久 富	稲 見
	2	島 村	鈴 木	宗 像	島 村	鈴 木
	3	畠 山	中 根	中 村	畠 山	神 谷
	3	中 村	畠 山	神 谷		中 根
外 科		鈴 木		角 田	鈴 木	角 田
整 形 外 科	1	萩 野	原 田	原 田	萩 野	萩 野
	2	原 田	落 合	落 合	落 合	原 田
泌 尿 器 科		相 川	川 口	相 川	相 川	相 川
産 婦 人 科	1	深 田	深 田	高 木	深 田	深 田
	2	伊 東	高 木	伊 東	伊 東	高 木
眼 科		古 市	古 市	古 市	手 術 日	古 市
耳 鼻 咽 喉 科					矢 崎	

※乳児健診(小児科) 毎週 火・木曜日 (完全予約制)
 ※予防接種(小児科) 毎週 水曜日 (完全予約制)
 ※人間ドック 毎週 月曜日 (完全予約制)
 ※脳ドック 毎週 火・金曜日 (完全予約制)

※高齢者検診 毎週 木曜日 (完全予約制)
 ※結核検診 毎週 月・水・金 14時から16時
 ※毎月第4金曜日 黒澤医師 糖尿病教室

編集後記

“風薫る五月”
 甲府盆地の周囲の山々も急に緑が濃くなって来た感じがします。

そういえば最近、各地からの観光バスをよく見掛けるようになりました。GWを目前に控え、いよいよ本格的な行楽シーズンの幕開けでしょうか。

さて、診療報酬改定に係る諸事務も一段落し、当院の次なる目標は、巻頭頁で診療部長が書いた通り七月からのDPCの本格稼働です。この制度の成否には平均在院日数の短縮は重要な要素の一つとなりますが、そのためには、近隣医療機関様のご支援が必要不可欠となります、今後とも当院の運営に当りまして格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。(山)

医療連携室直通電話

TEL 0555-240-6223
 FAX 0555-240-6225